

第42号議案

芦屋市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

芦屋市火災予防条例の一部を改正する条例を別紙のように定める。

平成26年6月9日提出

芦屋市長 山 中 健

提案理由

消防法施行令の一部改正に伴い、花火大会等における対象火気器具等の取扱いに関する規定を整備するほか、屋外における催しの防火管理に関する事項を定めるため、この条例を制定しようとするもの。

芦屋市条例第 号

芦屋市火災予防条例の一部を改正する条例

芦屋市火災予防条例（昭和48年芦屋市条例第28号）の一部を次のように改正する。

目次中

「第5章 避難管理（第38条—第45条）」

を

「第5章 避難管理（第38条—第45条）」

第5章の2 屋外催しに係る防火管理（第45条の2・第45条の3）」

に改める。

第3条第1項中「(18の2)」を「(18)の2」に、「(18の3)」を「(18)の3」に改める。

第13条第1項中「(3の2)」を「(3)の2」に、「(3の3)」を「(3)の3」に改める。

第20条第1項第9号の次に次の1号を加える。

(9)の2 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しに際して使用する場合にあつては、消火器の準備をした上で使用すること。

第21条第2項中「第9号」を「第9号の2」に改める。

第23条第2項及び第24条中「及び第9号」を「、第9号及び第9号の2」に改める。

第5章の次に次の1章を加える。

第5章の2 屋外催しに係る防火管理

(指定催しの指定)

第45条の2 消防長は、祭礼、縁日、花火大会その他の多数の者の集合する屋外での催しのうち、大規模なものとして消防長が別に定める要件に該当するもので、対象火気器具等（令第5条の2第1項に規定する対象火気器具等をいう。以下同じ。）の周囲において火災が発生した場合に人命又は財産に特に重大な被害を与えるおそれがあると認めるものを、指定催しとして指定しなければならない。

2 消防長は、前項の規定により指定催しを指定しようとするときは、あらかじめ、当該催しを主催する者の意見を聴かなければならない。ただし、当該催しを主催する者から指定の求めがあつたときは、この限りでない。

3 消防長は、第1項の規定により指定催しを指定したときは、遅滞なくその旨を当該指定催しを主催する者に通知するとともに、公示しなければならない。

(屋外催しに係る防火管理)

第45条の3 前条第1項の指定催しを主催する者は、同項の指定を受けたときは、速やかに防火担当者を定め、当該指定催しを開催する日の14日前までに（当該指定催しを開催する日の14日前の日以後に同項の指定を受けた場合にあつては、防火担当者を定めた後遅滞なく）次の各号に掲げる火災予防上必要な業務に関する計画を作成させるとともに、当該計画に基づく業務を行わせなければならない。

- (1) 防火担当者その他火災予防に関する業務の実施体制の確保に関すること。
- (2) 対象火気器具等の使用及び危険物の取扱いの把握に関すること。
- (3) 対象火気器具等を使用し、又は危険物を取り扱う露店、屋台その他これらに類するもの（第48条において「露店等」という。）及び客席の火災予防上安全な配置に関すること。
- (4) 対象火気器具等に対する消火準備に関すること。
- (5) 火災が発生した場合における消火活動、通報連絡及び避難誘導に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、火災予防上必要な業務に関すること。

2 前条第1項の指定催しを主催する者は、当該指定催しを開催する日の14日前までに（当該指定催しを開催する日の14日前の日以後に前条第1項の指定を受けた場合にあつては、消防長が定める日までに）、前項の規定による計画を消防長又は消防署長に提出しなければならない。

第46条第3項中「前各項」を「前2項」に、「届け出」を「届出」に改める。

第47条中「おそれある」を「おそれのある」に、「(3の2)」を「(3)の2」に、「(7の2)」を「(7)の2」に、「(8の2)」を「(8)の2」に改める。

第48条に次の1号を加える。

- (6) 祭礼，縁日，花火大会，展示会その他の多数の者の集合する催しに際して行う露店等の開設（対象火気器具等を使用する場合に限る。）

第48条の2第1項中「消防長又は消防署長が」を「消防長が」に改める。

第49条第3項中「前各項」を「前2項」に、「届け出」を「届出」に改める。

第52条に次の1号を加える。

- (4) 第45条の3第2項の規定に違反して，同条第1項に規定する火災予防上必要な業務に関する計画を提出しなかつた者

第53条中「法人の代表者」を「法人（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものを含む。以下この項において同じ。）の代表者若しくは管理人」に、「各本条に係る罰金刑」を「，同条の刑」に改め，ただし書を削り，同条に次の1項を加える。

- 2 法人でない団体について前項の規定の適用がある場合には，その代表者又は管理人が，その訴訟行為につき法人でない団体を代表するほか，法人を被告人又は被疑者とする場合の刑事訴訟に関する法律の規定を準用する。

附 則

この条例は，平成26年7月1日から施行する。ただし，この条例の施行の日から起算して14日を経過する日までに終了する催しについては，この条例による改正後の芦屋市火災予防条例第45条の2及び第45条の3の規定は適用しない。

参 照

芦屋市火災予防条例の一部改正要綱

1 改正の趣旨

消防法施行令の一部改正に伴い、花火大会等における対象火気器具等の取扱いに関する規定を整備するほか、屋外における催しの防火管理に関する事項を定めるため、この条例を制定しようとするもの。

2 改正の内容

- (1) 対象火気器具等を祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しに際して使用する場合にあっては、消火器の準備をした上で使用することとする。(第20条、第21条、第23条及び第24条関係)

※ 対象火気器具等とは、火を使用する器具又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある器具であって、総務省令で定めるものをいう。

(例) 移動式ストーブ、卓上型こんろ、七輪、鉄板焼器、焼き鳥器、ホットプレート等

- (2) 屋外催しに係る防火管理に関する事項(第45条の2及び第45条の3関係)

ア 指定催しの指定

(ア) 消防長は、祭礼、縁日、花火大会その他の多数の者の集合する屋外での催しのうち、大規模なものとして消防長が定める要件に該当するもので、対象火気器具等の周囲において火災が発生した場合に人命又は財産に特に重大な被害を与えるおそれがあると認めるものを、指定催しとして指定しなければならないこととする。

(イ) 消防長は、(ア)により指定催しを指定しようとするときは、あらかじめ、催しを主催する者の意見を聴かなければならないこととし、指定催しを指定したときは、遅滞なくその旨を指定催しを主催する者に通知するとともに、公示しなければならないこととする。

イ 屋外催しに係る防火管理

(ア) 指定催しを主催する者は、指定を受けたときは、速やかに防火担当者を定め、開催日の14日前までに次に掲げる火災予防上必要な業務に関する計画を作成させるとともに、当該計画に基づく業務を行わせなければならないこととする。

a 防火担当者その他火災予防に関する業務の実施体制の確保に関すること。

b 対象火気器具等の使用及び危険物の取扱いの把握に関すること。

c 対象火気器具等を使用し、又は危険物を取り扱う露店、屋台その他これらに類するもの及び客席の火災予防上安全な配置に関すること。

d 対象火気器具等に対する消火準備に関すること。

e 火災が発生した場合における消火活動、通報連絡及び避難誘導に関すること。

f aからeまでのほか、火災予防上必要な業務に関すること。

(イ) 指定催しを主催する者は、開催日の14日前までに(ア)の計画を消防長又は消防署長に提出しなければならないこととする。

(3) 祭礼、縁日、花火大会、展示会その他の多数の者の集合する催しに際して露店等を開設しようとする者は、その旨を消防長又は消防署長に届け出なければならないこととする。(第48条関係)

(4) 罰則に関する事項(第52条及び第53条関係)

ア (2)イ(イ)に違反して、火災予防上必要な業務に関する計画を提出しなかった者は、30万円以下の罰金に処することとする。

イ 罰金刑の対象となる法人に、法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものを含めることとする。

(5) その他所要の規定の整備

3 施行期日等

平成26年7月1日。ただし、施行日から起算して14日を経過する日までに終了する催しについては、2(2)の屋外催しに係る防火管理に関する事項は適用しない。